

## 平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月2日

上場取引所 東証第二部

上場会社名 マックスバリュ東北株式会社

コード番号 2655 URL <http://www.mv-tohoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 和明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

兼内部統制担当 (氏名) 古谷 憲介

TEL (018)847-0111

四半期報告書提出予定日 平成26年7月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第1四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成27年2月期第1四半期	27,986	16.9	47	△73.9	43	△79.0	△25	—
平成26年2月期第1四半期	23,938	—	180	—	208	—	103	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
平成27年2月期第1四半期	△1.42	—
平成26年2月期第1四半期	5.87	5.86

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
平成27年2月期第1四半期	26,895	3,548	3,548	3,548	13.1	13.1
平成26年2月期	23,823	3,469	3,469	3,469	14.5	14.5

(参考) 自己資本 平成27年2月期第1四半期 3,526百万円 平成26年2月期 3,447百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
平成27年2月期	—	—	—	—	—
平成27年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計	58,000	16.1	500	98.7	450	60.6	200	94.0	11.37
通期	115,000	16.3	900	106.1	800	59.8	400	—	22.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	平成27年2月期1Q	13,120,000株	平成26年2月期	12,000,000株
② 期末自己株式数	平成27年2月期1Q	7,886株	平成26年2月期	7,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	平成27年2月期1Q	13,112,138株	平成26年2月期1Q	11,992,194株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、平成26年7月1日付にて、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 上記1. 「平成27年2月期第1四半期の業績」(1) 「経営成績 (累計)」の「1株当たり四半期純利益」「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」及び3. 「平成27年2月期の業績予想」の「1株当たり当期純利益」の金額については、A種類株式が転換仮定方式に準じて算定された株式数を、普通株式の期中平均株式数に加えて算定しております。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報 (注記事項) に関する事項 .....	3
( 1 ) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 2 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示 .....	3
3 . 四半期財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期損益計算書 .....	6
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
( 5 ) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における経営環境は、政府の経済政策や金融緩和を背景に一部企業の業績が回復するなど景気の緩やかな回復の動きが見られましたが、消費税率引き上げによる可処分所得の減少懸念や輸入原材料の値上げ圧力が強まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社がスーパーマーケットとして営業基盤とする北東北エリアにおいても、人口減少とともに雇用不安と個人消費の停滞が長期化し、お客さまの生活防衛志向や節約志向が継続して、競合各社との価格競争に加え業種・業態を超えた競争が激化するなど厳しい状況が続いております。

こうした中で当社は、収益力の向上、店舗網の再構築、財務体質の抜本的な強化の三本柱を主軸とした「事業構造改革」に継続して取り組むとともに、去る3月1日付で岩手県を地盤とするマックスバリュ北東北株式会社と合併し両社の経営資源の集中と効率化により強固な事業基盤の構築に努めることといたしました。これにより当社は、青森県23店舗、秋田県37店舗、岩手県10店舗、山形県26店舗、新潟県7店舗の合計103店舗の体制で今期をスタートいたしました。

当第1四半期累計期間においては、大型改装を1店舗実施しデリカコーナーのリニューアルやノンフーズ売場の拡充により品揃えの幅を拡大したほか、売場ゾーンの見直しや商品構成の変更などを行う改装を6店舗実施して、シニア対応の強化と立地特性に合わせた魅力的な売場づくりを進めてまいりました。また、生鮮食品部門でのイオンのブランド「トップバリュ」商品の拡大などにより価格競争力の強化に努めるとともに、小容量パックの充実や調理の手間を省く商品の品揃え、デザート等の充実などに努めました。

当第1四半期累計期間では、消費税率引き上げ前後の駆け込み需要とその反動があり、期間中のお客さま一人当たり買上点数は既存店ベースで対前年同期比97.9%、客数は同99.6%、客単価は同100.3%となり、結果として既存店売上高は同99.9%となりました。また、付加価値を高めた即食性・簡便性を持つ商品群の充実や売価変更ロスの削減などに努めた結果、売上総利益率は前年同期比0.3ポイント上昇し22.0%となりました。一方経費面では、収益性の向上のためコスト構造改革を継続して進めておりますが、販売費及び一般管理費の総額は既存店ベースで対前年同期比101.1%となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は営業収益279億86百万円(対前年同期比116.9%)、営業利益47百万円(対前年同期比26.1%)、経常利益43百万円(対前年同期比21.0%)となり、期間中減損損失等の計上があったことから四半期純損失25百万円(前年同期は103百万円の四半期純利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ19億58百万円増加し、85億34百万円となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金が5億22百万円、商品が3億88百万円、電子マネー決済の増加等で未収入金が10億8百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ11億13百万円増加し、183億60百万円となりました。増減の主な内訳は、合併による有形固定資産12億77百万円の受入等で有形固定資産が10億2百万円、投資その他の資産が1億8百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ30億72百万円増加し、268億95百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ32億10百万円増加し、200億8百万円となりました。増減の主な内容は、当四半期会計期間末日が金融機関休業日のため決済が翌四半期会計期間へ回ったことと合併等により、買掛金が33億45百万円、未払金及び未払費用が6億86百万円増加し、短期借入金が16億円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2億17百万円減少し、33億38百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億42百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ 29 億 92 百万円増加し、233 億 46 百万円となりました。  
(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ 79 百万円増加し、35 億 48 百万円となりました。これは、合併による資本金の増加 1 億円及び資本剰余金の増加 3 百万円と四半期純損失を 25 百万円計上したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2015 年 2 月期の業績予想につきましては、2014 年 4 月 8 日に公表いたしました 2015 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更、修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2014年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,081	1,344,425
売掛金	108,116	172,067
商品	2,594,478	2,982,517
貯蔵品	33,339	38,179
前払費用	305,243	281,008
繰延税金資産	91,509	91,193
未収入金	2,467,958	3,476,596
その他	154,943	152,392
貸倒引当金	△1,026	△3,564
流動資産合計	6,576,642	8,534,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,849,387	9,626,841
工具、器具及び備品(純額)	1,267,101	1,480,245
土地	5,188,682	5,148,780
建設仮勘定	21,791	73,283
有形固定資産合計	15,326,963	16,329,150
無形固定資産	22,148	25,062
投資その他の資産		
投資有価証券	99,225	102,251
長期前払費用	470,636	489,160
差入保証金	1,277,681	1,365,802
その他	52,972	51,877
貸倒引当金	△2,757	△2,457
投資その他の資産合計	1,897,758	2,006,633
固定資産合計	17,246,870	18,360,846
資産合計	23,823,513	26,895,663

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2014年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,564,767	10,910,098
短期借入金	4,100,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	661,600	618,800
未払金及び未払費用	1,933,916	2,620,694
未払法人税等	157,151	48,290
未払消費税等	473,149	256,912
賞与引当金	107,219	245,886
設備関係支払手形	175,676	488,159
資産除去債務	—	9,000
店舗閉鎖損失引当金	13,536	11,146
その他	1,610,840	2,299,149
流動負債合計	16,797,859	20,008,137
固定負債		
長期借入金	530,700	287,800
退職給付引当金	338,108	324,801
長期預り保証金	1,427,897	1,454,053
繰延税金負債	182,234	188,062
資産除去債務	963,867	1,026,708
その他	113,539	57,423
固定負債合計	3,556,347	3,338,849
負債合計	20,354,206	23,346,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,585,000	3,685,000
資本剰余金	4,062,645	4,065,983
利益剰余金	△4,225,772	△4,251,682
自己株式	△7,258	△7,277
株主資本合計	3,414,613	3,492,023
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,954	34,914
評価・換算差額等合計	32,954	34,914
新株予約権	21,739	21,739
純資産合計	3,469,306	3,548,677
負債純資産合計	23,823,513	26,895,663

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年5月31日)
売上高	23,464,797	27,492,362
売上原価	18,380,867	21,451,072
売上総利益	5,083,929	6,041,289
その他の営業収入	473,400	493,652
営業総利益	5,557,329	6,534,942
販売費及び一般管理費	5,376,386	6,487,661
営業利益	180,943	47,280
営業外収益		
受取利息	669	631
受取配当金	973	985
債務勘定整理益	2,670	3,506
補助金収入	3,792	120
受取保険金	29,601	1,351
貸倒引当金戻入額	1,239	—
その他	3,938	2,248
営業外収益合計	42,885	8,843
営業外費用		
支払利息	12,121	10,778
リース解約損	1,582	—
その他	1,216	1,443
営業外費用合計	14,919	12,221
経常利益	208,908	43,901
特別利益		
固定資産売却益	—	92
特別利益合計	—	92
特別損失		
減損損失	24,746	42,454
店舗閉鎖損失	—	641
特別損失合計	24,746	43,095
税引前四半期純利益	184,162	898
法人税、住民税及び事業税	41,258	32,909
法人税等調整額	39,617	△6,101
法人税等合計	80,875	26,808
四半期純利益又は四半期純損失(△)	103,286	△25,909



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2014年3月1日付で当社を存続会社、マックスバリュ北東北株式会社を消滅会社とする吸収合併をいたしました。この結果、当第1四半期累計期間において、資本金が100,000千円、資本剰余金が3,338千円増加し、当第1四半期会計期間末において、資本金が3,685,000千円、資本剰余金が4,065,983千円となっております。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。